

認知症サポーター養成講座(関東信越厚生局本局)

日 時:令和7年12月18日(木) 14時00分～15時45分

会 場:さいたま新都心合同庁舎1号館 1階 多目的室1

参加人数:61名

参加部署:国土交通省関東地方整備局 北関東防衛局 関東信越国税局 環境省関東地方環境事務所

埼玉労働局 関東矯正管区 関東地方更生保護委員会 関東経済産業局 関東財務局
関東信越厚生局

講 師:NPO法人『風の詩』理事長 永島 徹 氏(日本社会事業大学専門職大学院 特任准教授)

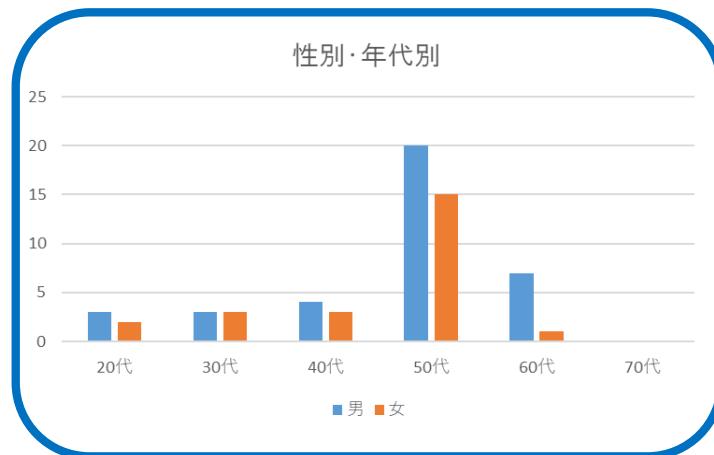
● さいたま新都心に勤務する地方支分部局の職員を対象に、10の官署より61名の参加をいただきました。今回の講座では、認知症について正しく理解し、接し方や支え方を学ぶ機会となり、参加者からは、「認知症への見方が変わった」「誤ったイメージを持っていたことに気づいた」「本人の視点でサポートすることの大切さを学んだ」といった声が寄せられ、認知症を身近なものとして捉え、偏見なく接することの重要性を再認識する場となりました。

特に、永島先生の分かりやすい説明と事例を交えた解説が大変好評で、「業務に活かしたい」「家族や地域で役立てたい」という意欲的な声も多く、今後の地域包括ケアの推進に向けて大きな一歩となりました。

～アンケート結果～

アンケート回収率:100%

1. 参加者の内訳



2. この研修に参加した感想をお聞かせください

①非常に有意義だった	②有意義だった	③どちらともいえない	④あまり参考にならなかった	⑤回答なし	合計
44	16	0	0	1	61

※自由記述 18回答

○認知症が身近なものであることに気付きました。

○どう接するのが良いのか知ることができて勉強になりました。

3. 研修内容について理解できましたか

①よく理解できた	②まあまあ理解できた	③あまりわからなかつた	④全くわからなかつた	⑤回答なし	合計
45	16	0	0	0	61

※自由記述 34回答

○本人と家族、本人と社会との関係性に踏み込んだ内容は、現状を俯瞰する上で重要な視点だと思いました。

○難しいことをする必要がないことがわかり、理解があればうまく対応できると思いました。

4. あなたの今後の業務や地域での支援活動において役立つ内容だと思いますか

①非常に役に立つ	②まあまあ役に立つ	③あまり役に立たない	④全く役に立たない	⑤わからない	⑥回答なし	合計
45	16	0	0	0	0	61

※自由記述 29回答

○来庁者等での対応で役立つと思います。

○業務上これからとても大事なので、これから本日学んだことを活かしていきたいです。

5. その他、今回の研修について、ご意見・ご要望がございましたら自由にご記入ください

※自由記述 21回答

○今後も認知症サポーターが増え、誰も取り残されない共生社会が推進されることを望みます。

○認知症、そうでなくとも、人との対応、接し方は変わらないし、見方が広がりました。